



ブラジル学校における 日本語教育の充実を考える シンポジウム

2022年3月13日(日)10:00～12:00

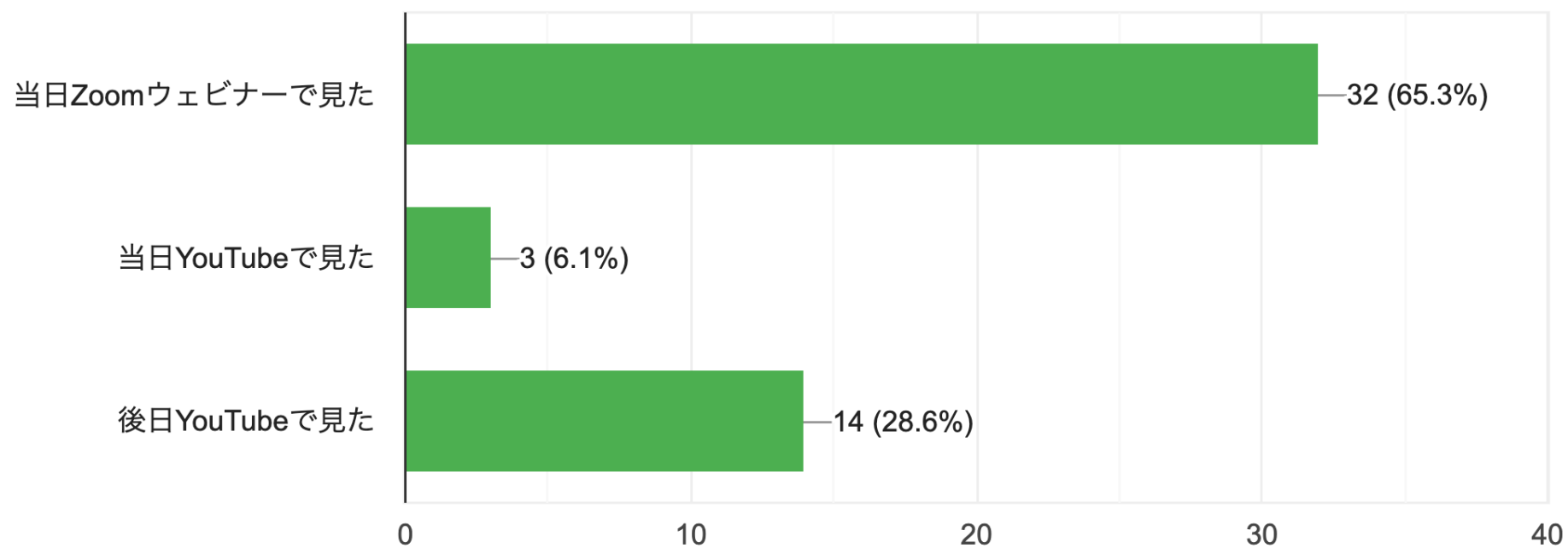


＜視聴者アンケート集計結果＞



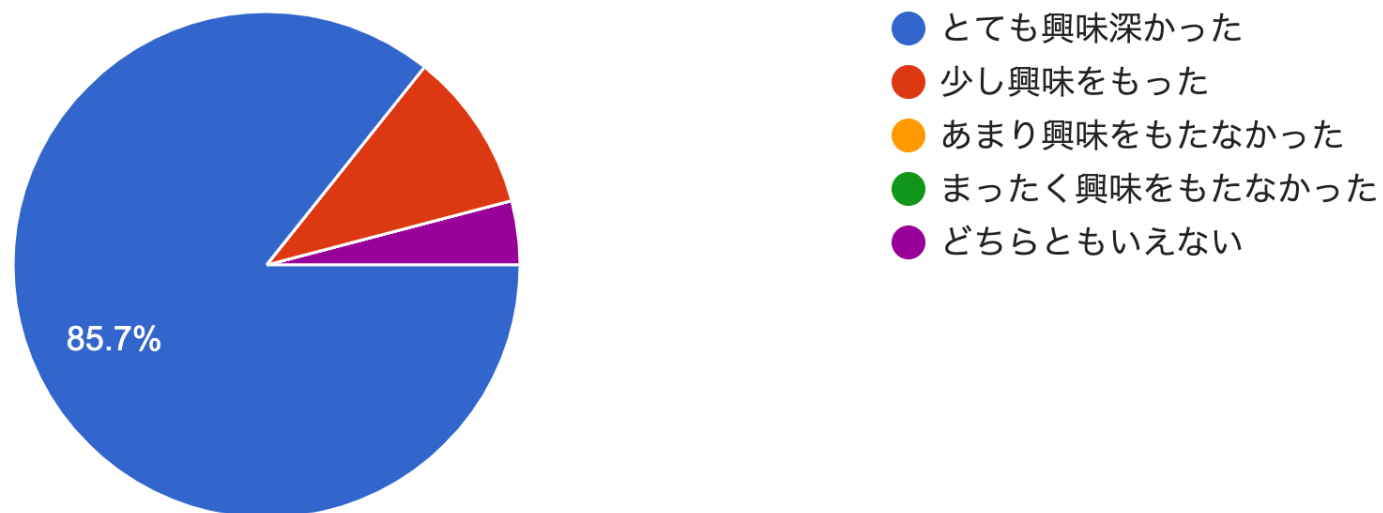
Q1.このシンポジウムを何でご覧になりましたか？（複数回答可）

49 件の回答



Q2. 「在日ブラジル学校日本語教育実態調査2021」の報告内容はいかがでしたか？

49 件の回答



Q2について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

22 件の回答（以下、抜粋）

- 進学率の低さや中退率の高さ等、話には聞いていたが、母数が少ないとはいえ具体的な数字で現状を知ることができた。
- 今まで詳しくしなかったブラジル人学校の実態を少ししることができて良かった。
- ブラジル学校の内容をよく知りませんでした。本国の認可を受けていても運営主体から規模など本当に幅があると驚きました。
- ブラジル学校で無償ボランティアとして日本語を教えています。生徒たちの高校卒業後が大変気になっています。ブラジルに帰って進学する希望を持っていても叶えられない生徒もたくさんいます。また日本で就職するための日本語能力がないために正規雇用も難しくそのことに対して保護者はどのように考えているのかもいつも気になっていました。生徒から就職の面接試験の練習をしたいと要望されたこともあります。ブラジル学校の先生方は、日本の会社で働いたことがないためできないようでした。そういう点での日本人のサポートの必要性和、先生方の学びや経験も必要だと感じています。今回シンポジウムで伺った内容をできたらブラジル学校の先生と共有し、今後につなげたいと思います。
- 私自身の実感と同じ結果だったことが、驚きでもあり、残念なことでもありました。
- 1つのブラジル人学校に長く勤務する者として、最新の情報を得ることができて良かったです。
- JICA日系社会ボランティアとしてブラジルの日系社会で活動をしてきました。訓練時から愛知県で日本語指導をする同期から現状を聞いていたこと、ブラジルの日本語学校で両親の出稼ぎで日本に暮らし、本人の意志に関わらずブラジルへ戻ってきた生徒たちと接してきたこと、現在日系子弟たちと公私共に関わりがあるため、また将来的には外国籍のこどもたちと関わる仕事がしたいこともあり、非常に貴重な話を伺えたことに感謝します。
- 調査報告は貴重なデータです。公開してくださり、感謝しております。

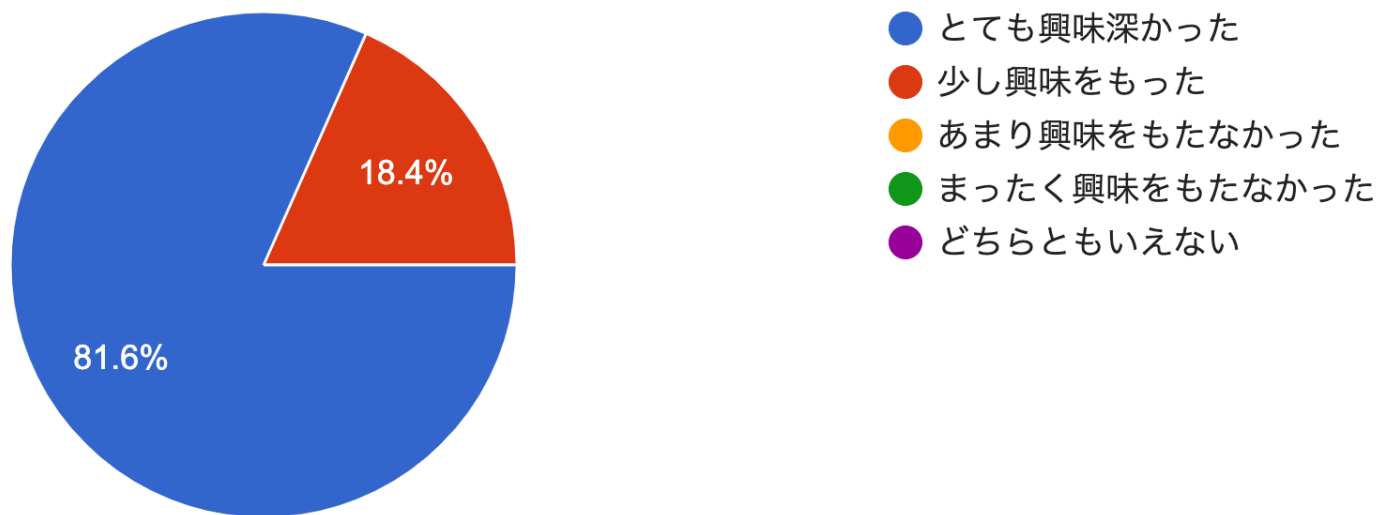
Q2について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

22 件の回答（以下、抜粋）

- 私は三年前、個人の事情のため急に家族三人で日本に住む事になりましたが、娘は当時中学3年生の後半だったので、ブラジル学校に通学する選択をしました。娘は今年高3なので、大学受験に対していろいろな課題を抱えているところです。私はブラジルでは日本語学校で教師してまして、こちらの現実はとても困難な状況だと感じています。
- ブラジル学校について、初めて知りました。
- 様々な角度から調査され、数値化されていたので、わかりやすくて良かった。全てではないが、在日ブラジル学校の状況が知れて勉強になった。
- 日本の人手不足の産業に貢献しているのです。日本政府として学校設備などにもっと援助して欲しい。

Q3. 「エスコーラ・ネクターにおける日本語教育」の報告内容はいかがでしたか？

49 件の回答



Q3について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

19 件の回答 （以下、抜粋）

- 日本語教育に関わってらっしゃる講師の方々の熱意に感動しました。
- ひとくちにブラジル学校での日本語教育といってもかなり違いがあるということを実感しました。
- ブラジル人学校の存在は知っていましたが、もうそんなに人もいないものだと思っていたので、まだまだ学生も多く、存在価値も大きいことを知りました。私の周囲にはブラジル人学校はなかったので、具体的に知るきっかけとなり、いい機会でした。もう少し、授業内容について詳しい話が聞きたかったです。
- 愛知県や静岡県のようなブラジル人が多く住む地域以外での、ブラジル人学校の取り組みについて興味を持ちました。
- ご自身も学校で学ばれ、日本の大学を出られて、その上でブラジル学校を運営されていることは、子どもたちや保護者さんにとって、心強い先生だと思いました。
- キャリア教育は重要だと思いました。
- 理想的だと思いました。後は継続ができるかですね。当園も真似できるよう頑張ります。ブラジルで日本語を学ぶ生徒とブラジル人学校の生徒との日本語に対するモチベーションの違いをお伝え頂き、とても良かったです。日本語を教えたいと来られる先生方が、生徒たちが勉強しないとがっかりされるのですが、その背景を知ってもらえたと思います。
- 日本語教育を取り入れている理由をもう少し詳しく聞きたかったです。
- 社会の変化に伴って、学校の果たす役割も変化し、とても大切な部分を担われていることがわかりました。

Q3について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

19 件の回答 （以下、抜粋）

- 非常に勉強になりました。このような実践報告を、自分でもしなければならぬと常日頃思っておりまして。忸怩たる思いです。言い訳になりますが、日々の授業準備、宿題チェックやテストの作成・採点に追われ、対価にも納得できていません。そのため、オープンキャンパスの引率などいろいろな活動に取り組んでも、力尽きてそのままで終わってしまっています。
- 私自身の業務が日本社会において、また日本のブラジル人生徒にとってどのような立ち位置にあるのか、どう還元すべきなのかということをもっと俯瞰的に見る必要があると思いました。そうすれば、もっと社会や学習者のニーズに合った授業が展開できるのではないのでしょうか。
- 以前から、出稼ぎと呼ばれる形で来日している親御さんが、こどもたちの教育について（日本人から見ると）真剣に考えていないというか、「どうにかなる精神」でいることが気がかりでした。
- こどもたちもお手本になる年の近い先輩や親が工場で働いているので、自分の選択肢もそこしかないのだと諦めている子が多いと聞いていたので、選択肢を提示したり、お手本となる先輩から話を聞く機会を何らかの形で作りたと思っておりましたが、こちらの学校で取り組まれていると伺い、素晴らしいと思いました。代表の山家氏ご自身も3歳から日本で暮らし、現在自身と似た環境で育つこどもたちへの教育に携わっていることは、生徒さんたちにとっても非常に良いことだと思います。日系子弟限定ではありますが、JICA日系スカラーシップなどの奨学金もあるので、経済的に進学が難しいと諦めてしまう前に、そのような情報を共有されていくことも大切かと思いました。
- 日本政府も外国籍のこどもたちへの教育をしっかりと取り組まなければならぬとひしひしと感じています。日本のこどもたちへの教育問題もあるので後手後手にされるのもわかりませんが、なんとももどかしいところではあります。
- 日系人の優秀なかたが活躍されていることに、安心しつつも、彼女たちの待遇はどうなのか気になりました。

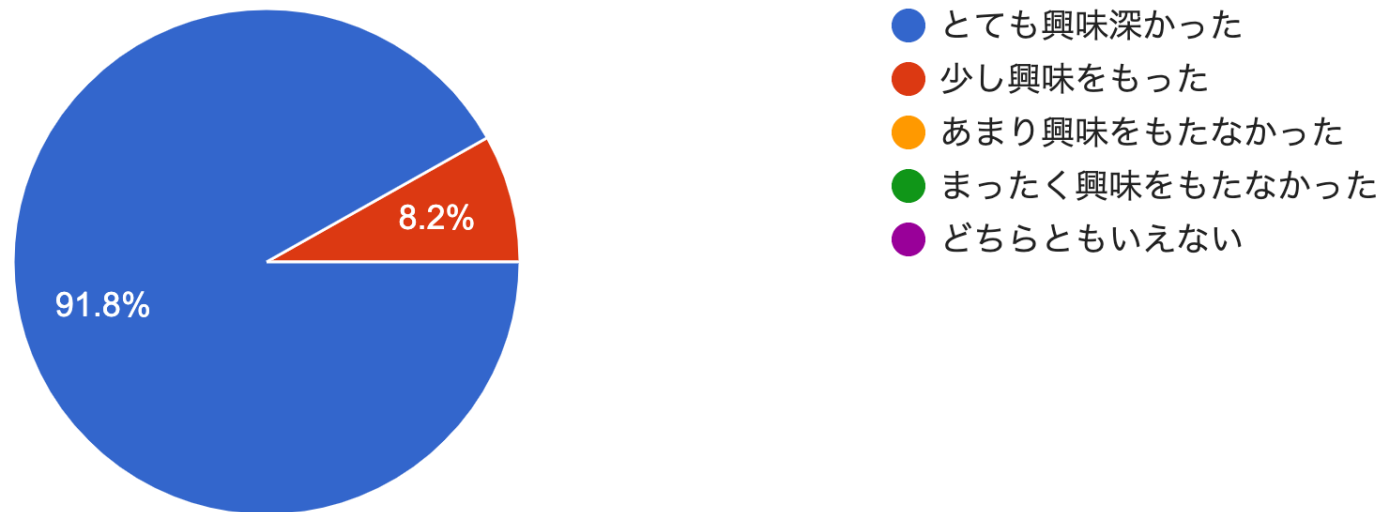
Q3について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

19 件の回答 （以下、抜粋）

- エスコラ・ネクターの日本語コミュニケーション力チャレンジアップコースに興味もちました。娘が通っている学校でも私が力になれるかと思って、サポートみたいなことを考えましたが、残念ながら前に進めませんでした。
- 年齢が近い日本語教師が入って将来のキャリアパスと一緒に考えるようなカリキュラムや、大学のオープンキャンパスに出かける取り組みが素晴らしいと思いました。今後は、実践とは別に、短期・長期的な日本語教育のコースデザインを立案・計画できる専門家に関わってもらう必要があるかと思いました。
- 母語による教育は、子どもの将来にとって重要。日本語教育では、キャリア形成の視点を持つことも大切です。
- これまで、在日ブラジル学校でされていることなど、詳しく知らなかったので、知れて良かった。苦しい経営ながらも、長年続けてこられたことは素晴らしいと思う。ブラジルの児童・生徒のために、これからも長く続けていただきたいと思った。
- 保護者と学校のコミュニケーション、生徒達のモチベーション(特にコロナ禍)、家庭・学校経済の問題等々、共通の課題が多く、とても参考になりました。
- エスコラ・ネクターの日本語教師の松村月音さんは、JICA2018年度3次隊として、私と一緒に2019年1月にブラジルに派遣された一人です。元気で活躍しており、大変懐かしく嬉しく思いました。

Q4.パネルディスカッションの内容はいかがでしたか？

49 件の回答



Q4について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

29 件の回答（以下、抜粋）

- 知らないことがたくさんあり、勉強させていただきました。
- 堀先生、鈴木先生のお話は、根本的なことに触れられていて、貴重だと思いました。
- 日本人・外国人に関係なく、親の意識を変えることは難しいと感じた。
- 今日指摘された問題はかなり前から明らかになっていたことが多いように感じました。なぜ、こうした問題がなかなか改善されないのかを掘り下げることが重要ですね。
- 親の都合で来日してきた子どもは、自分の置かれている環境や、経済的な課題が分からない状態の子どもに将来の夢を語ることを、支援者が求めることがいかに残酷なことかに気が付きました。
- 堀先生の鋭い意見、問題提起が印象的でした。私は日本語教師を目指して勉強していますが、学生の進路指導をすることはもちろん、その前に自身のキャリアも考えていることが重要だという意見があり、とても納得できました。教科書選びや教え方の前に、学習者が何ができるようになることが目的で授業があるのかをしっかりと考えて、また確認して、授業づくり、学生の学校生活作りをすることが重要で、私の頭にはなかったものだと思います。堀先生は重要な気づきをくださいました。
- パネリストの方、それぞれの現場の状況や課題について、具体的にお話し下さり、とても勉強になりました。私に関わる保護者や子どもたちに対しても、より具体的に自分たちで「考える」ような支援や方策、情報提供が必要だと感じました。
- 子どもへの支援と親への支援をつなぐという点が明確になってよかったです。堀さん指摘の企業との関係、日本社会全体との関係のなかで考えるという機会があればと思いました。
- 全体として皆が同じ方向を向きながらも、予定調和ではなく改善が必要な批判的な視点や、ソフト部分だけでなく経営や指導者の雇用といった課題も触れられていた点がとても良かったです。

Q4について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

29 件の回答（以下、抜粋）

- 鈴木先生のお考えに同意します。ブラジル学校で学んだからこそその利点や個性を生かした創造的なキャリア教育がありえると思います。未来を担うこどもたちにはぜひ、今ここにはないキャリア、イノベーションを起こす教育デザインが提供されるといいと思います。また、子どもたちだけでなく、教育に関わっている人、保護者、地域住民が一体となって対話的にキャリアについて考える機会があるといいと思います。そういった機会の提供に、地域の大学が参画するといいと思いました。
- 堀さんのお話しに共感することが多かったです。また、母語であるポルトガル語を自分の強みとしてほしいと常に願っていますが、現実的にはブラジル学校の生徒のポルトガル語の能力も低下していると、関わっている学校の先生から聞いています。日本の学校に通う生徒だけの問題ではないようで心配しています。
- 登壇者のバランスが良く、とても良かったと思います。堀さんのご指摘はごもっともでとても参考になりました。社会が求めるものを理解できてない、考えていない方が多いと思います。生徒の親御さんに「働くのに日本語が必要でしょ？」と質問したら、「必要じゃない」と言う返事でした。子供の夢に対するディスカッションも大変興味深く、当園のキャリア教育の仕方も見直そうと思いました。
- 時間が足りないと思うほど興味深い内容でした。親の雇用主である企業の支援を求めることももっと必要ではないかと思いました。
- 堀永乃さんのご意見に共感。だしかにそうだなと思いました。
- 現在自身が活動している地域でも、外国ルーツの子どもへキャリア教育の重要性は認識されていますが、あまり具体化されていない現状です。今後進めて行くにあたっての大切な視点を教えていただきました。
- 堀さんからご指摘のあったこと3点は、常に現場で感じていたことです。お話を聞きながらPCの前で拍手をしていました。「すべての子どもが将来の夢を明確に持っている」というところからキャリア教育を始めてしまうから、現場にずれが生じているように思います。

Q4について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

29 件の回答（以下、抜粋）

- 堀さんのご指摘を踏まえて、鈴木先生のお話にもありましたが、日本語教師自身がキャリアカウンセラーの視点や知識、技量を持つことは非常に重要だと考えます。
- 拝野先生のお話にあった、「最低でも**100万円**は進学のためにためておくこと」のように日本語教師が多少は金融関係の知識を備えていること、社会情勢をつかんでおくことも大切だと思います。
- 日本語教師の待遇改善を切に望みます。
- 質の高い日本語教師の育成は、日本社会にとってプラスになると思います。
- 時間が足りないくらいでした。大学の教員としての鈴木氏、拝野氏の専門的な視点でのご意見をもっと伺ってみたいかったです。
- 堀氏のお話はこれまで自身が漠然と考えていた、また感じていたことをずばっと整理してお話されていて、自身の中でこれまでの整理ができました。そして、新たな着眼点にも気づくことができ、堀氏のお話をもっと伺いたかったです。
- ブラジル学校に通っている生徒達はさまざまな家庭の事情であり、日本語に興味を持たせるのには、まず親が同じ考えじゃないと無理な話になります。今私が実感しているのは娘の夢を壊したく無い気持ちでありながら、実際に日本語があまりできない彼女には大学も限られてきます。まさに皆さんがおっしゃっていたことです。
- パネリストの方々のコメントを聞いて。ブラジル人学校に通う子供たちの課題は、日本の学校に通う外国にルーツを持つ子どもや日本人の子どもにも共通する部分があると感じました。ホスト社会において、まずは、個人を尊重した多様な学び方が選択肢として得られるようになると日本における外国人学校において少人数だからこそできる縦割り教育など、特徴があるカリキュラムが実践できると思いました。ブラジル人学校の存在が、地域社会、そして日本社会に与える波及効果を期待します。

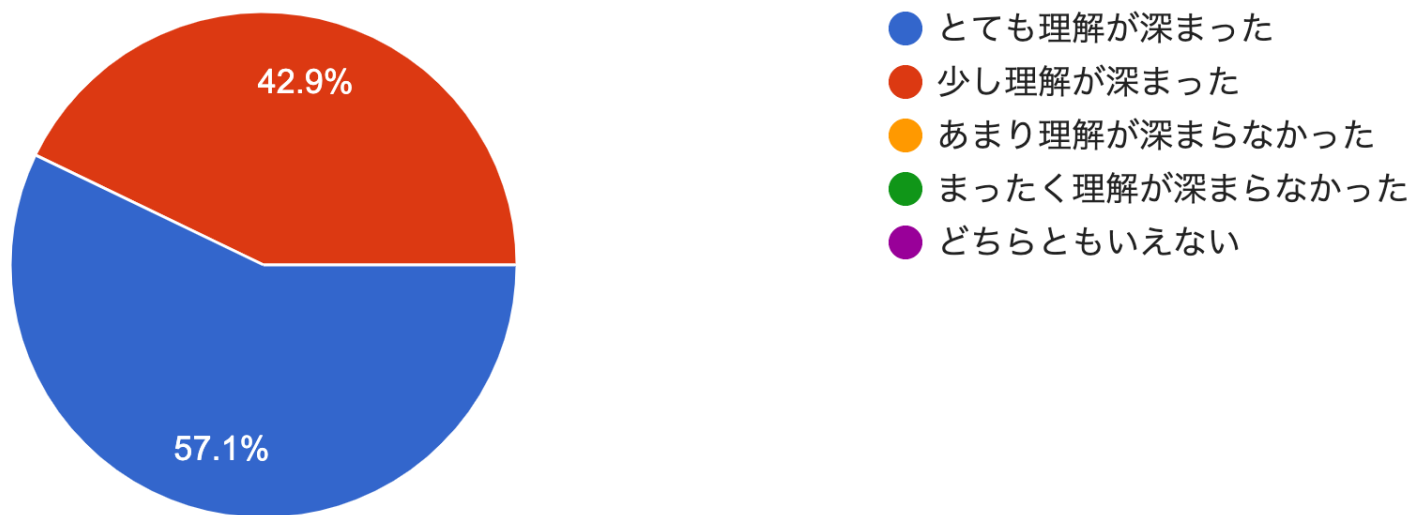
Q4について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

29 件の回答（以下、抜粋）

- 子供たちだけではなく、保護者・大人も含めたキャリア教育をという視点はとても大切だと思いました。
- 子どもの教育を考えると、親のキャリアや考えを理解することが大切だと分かりました。
- それぞれの立場からの率直な意見や鋭いコメントなどあり、大変興味深かった。ブラジルで日本語を教えている身として、考えさせられることがたくさんあった。
- どの方のご意見も勉強になりましたが、特に、堀様のご指摘を意識し、今後、生徒や保護者と関わろうと思いました。

Q5.このシンポジウムを通じて、日本にあるブラジル学校に関して理解が深まりましたか？

49 件の回答



Q5について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

23 件の回答 （以下、抜粋）

- 日本の学校教育とのカリキュラムの相違点や共通点などについて知る場があれば、理解がさらに深まると思います。
- 日本社会の外国人対応の課題が凝縮されているのがブラジル人学校の現状であることを再認識しました。
- 2006年ー2016年まで在日ブラジル学校で日本語教育に携わりましたが、現在問題が解決しないままであると感じました。
- 大垣市に住んでいても知らないことが多かったです。まだまだ分かりませんが、つながる機会があればと思いました。
- 私はブラジル人学校はとても大切な教育チャンネルだと思うので、これからも頑張ってもらいたいと思いますし、もっと経済的な支援がなされるといいと思います。
- ブラジル学校は共通の課題を持っていると実感しました。
- ブラジル学校に携わる日本人が日本の教育基準で考えてることがあるので、、、ブラジル本国の教育の現状や進学率などを把握する必要があると思います。なかなか情報が得られないので、この辺も教えてもらえると嬉しいです。
- ブラジル学校に対する知識がほぼゼロの状態でも理解のできる内容だったと思います。それでいて内容は浅くなかった。ありがとうございました。
- 拝野先生が調査されたときと現在の状況がそれほど変わっていないというご指摘は、本当にそのとおりです。長年ブラジル人学校でキャリアの日本語教育に関わる者として、日々実感しております。親御さんの状況が変わらない以上、私たちから動いていかなければならないと思いました。

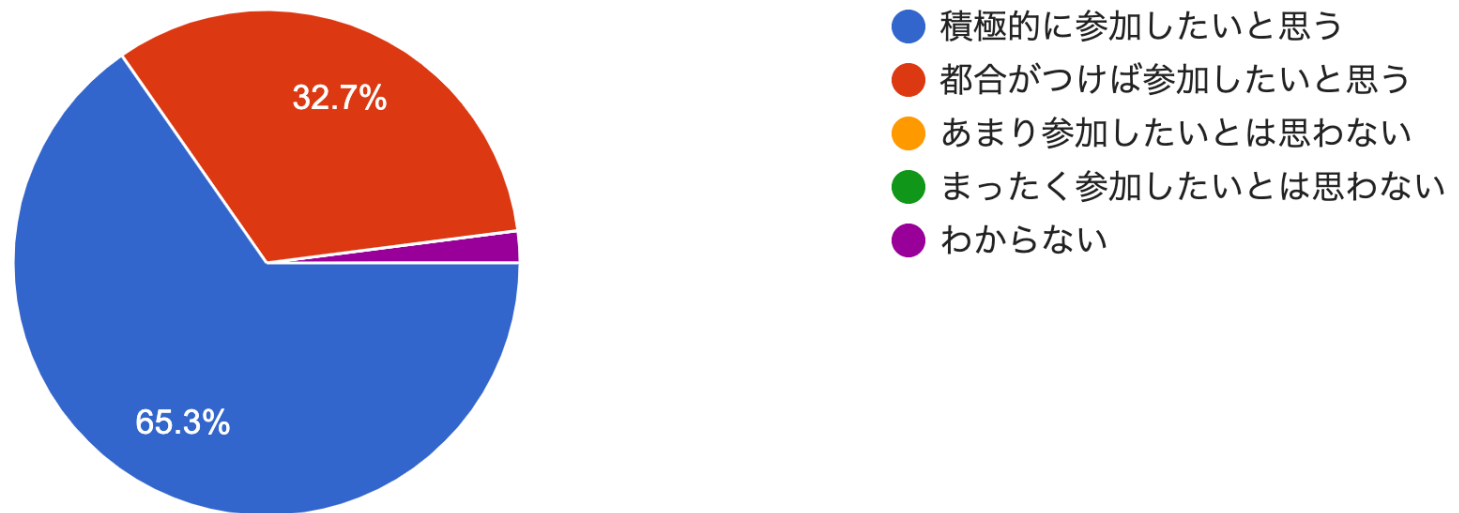
Q5について、ご意見・ご感想などあればお聞かせください。

23 件の回答 （以下、抜粋）

- ぜひ定期的にこのようなシンポジウムを開催していただき、現状を伝えていただけるとありがたいです。市民も知ることからスタートするかと思います。
- 自分自身、まだまだ勉強が足りないなあと感じました。
- 海外における日本人学校と日本におけるブラジル人学校の状況の違いを比較しながら聞いていました。堀先生がおっしゃった親の経済事情や子どもの教育に関するコミットメントが、ブラジルにルーツを持つ子どもたちが置かれている状況に影響を与えていると感じました。教育やそこに関わる教師の人材育成には時間とお金がかかります。海外では、文科省が認可していない日本人学校でも、日系企業が日本人会として子女のために資金を出し合って運営委員会を組織したり、全日制の場合は、文科省から教師が派遣されていたりするなど歴史があります。日本とブラジルの同胞の子女の義務教育や教育を受ける権利に関する考え方や国の経済力の違いを感じました。今後は、ブラジル人学校の安定的な存続のために、国に対しての補助金や企業への資金提供を働きかけるためには、ブラジル人学校における教育実践の成果が出せるといいと思いました。
- 知らないことが多かったです。今後さらに勉強していきたいです。
- 身近なブラジル学校の存在(有無を含め)について関心を持った。
- ブラジル人学校が日本語教育に力を入れていることがわかった
- 日本のブラジル学校の状況をわかったような気になるけれども、あくまで一部であることを忘れてはならないと思った。学校の理念や経営方針など、様々であろうことも認識しておかなければならない。
- ありがとうございます。外国にルーツを持つ子どもたちへのキャリア教育への視点について考えさせられた。公立学校へ通う子どもは、外国人学校とは共通するアプローチもあるし、別の配慮を加えないといけない点もあると感じた。

Q6.今後また、日本にあるブラジル学校における...て知る機会があれば、参加したいと思われませんか？

49 件の回答



Q7.このシンポジウムに関して、ご意見・ご感想などありましたらご自由にお書きください。

27 件の回答（以下、抜粋）

- とても内容の濃いシンポジウムで、学ばせていただくことが多々ありました。キャリアを考える視点、本当に大切ですね。今の私の現場でも痛感しています。ありがとうございました。
- 日本の産業界におけるブラジル人労働者の重要性についてもっと知りたいと思います。
- 外国人を採用する企業とも意見交換したい。
- 文化庁の日本語教育事業として行われたことに意義があるように思いました。
- 報告書が多くの方に読まれて、理解が広がるといいと思います。
- 事前申し込みなどもなくyoutubeで拝見でき、また資料も事前に参照することができ、スムーズに参加することができました。日曜日の午前中という時間帯も、参加しやすかったです。東海地方のこと、ブラジル学校のこと等はまだまだ不勉強です。外国ルーツの子どもたちの支援に関わっていますが、目先の授業や進学のことには目が向きがちですが、より大きい視野の進路のことを考える重要性をあらためて感じました。貴重な機会をいただきました。どうもありがとうございました。
- 企業などがSDGSへの関心を高めている中で、寄付などの支援の申し出をいただくことがあります。単純なものではありませんが、ブラジル学校などへもこうした支援が広がり、運営を支えていく力になったらよいと感じました。
- 群馬県在住です。日本語教師とキャリアコンサルタントの立場で定住外国人支援に携わっています。コメントされた方と同じく「外国人就労定着支援研修」において主に親世代の方々とキャリアプランニングを一緒に考えています。担当されるのは、コンサルタントではなく日本語教師の方が中心ですが、「日本語を通じて自分の強み・キャリアプランを一緒に考える」といった活動内容です。キャリア教育はすぐに結果が出るものではないので、地道に継続していくことが重要だと考えます。

Q7.このシンポジウムに関して、ご意見・ご感想などありましたらご自由にお書きください。

27 件の回答（以下、抜粋）

- 国内の学校教育においても、ここ20年ほどでキャリアに対する教育内容がだいぶ変わってきたと思います。そういった意味で実際にキャリア教育を受けた若い世代の方々が、支援に携わってほしいです。
- 先生方がおっしゃるように1人で全てのことは難しいので、ネットワークで知識を共有したり、専門家にリファーできるような横の繋がりは必要です。
- 必要経験ある先生方と対等に語り合っていらっしゃる山家ヤスエさんは本当に素晴らしかったです。彼女こそ、2つの文化という「強み」を身につけたロールモデルとして若い世代の励みになると感じました。
- 堀さんのお話には重要な視点が多くあると思いました。学校教員（ブラジル学校も日本の公立校も）や日本語教師自身が制度上の課題や教育・キャリア政策について知識を持ち、意識を高くしないと、子どものキャリアについて縮小再生産の加担者になってしまうと思います。そして親の子どもの教育に対する意識の問題はかなり大きいです。
- 教師研修ができるようになるには教師に経済的・時間的余裕が必要かと思います。教師のための奨学金制度（給料を保証して学び直しをしてもらう）ができるといいと思います。また、教師が教師以外のキャリアも同時に形成することが視野を広げる上でとても大事だと思います。
- 新たな課題や視点を得ることができ、大変勉強になりました。有り難かったです。ブラジル学校の先生にも参加を呼びかけましたが、参加にあまり興味のない先生もいました。今後多言語での開催もご考慮くださると有り難いです。
- 日本語教育の奥深さを痛感しました。このような機会が増えて、情報共有ができると良くなっていくと思うので、ぜひまたシンポジウム開催してください。宜しくお願い致します。

Q7.このシンポジウムに関して、ご意見・ご感想などありましたらご自由にお書きください。

27 件の回答（以下、抜粋）

- 外国人の少ない地域に住んでいるので、多文化共生を考える上でとても興味深いシンポジウムでした。
- 全体的にとってもわかりやすく、ききやすく、美しくまとまった会でした。もちろん内容も充実していました。ありがとうございました。
- 今回の非常に有益なシンポジウムを、是非もっと多くのブラジル人学校経営者、校長・教頭職など時間割担当者、企業の方や政府の方に視聴していただきたいと思います。
- 在日ブラジル人学校関係者としての感想です。今回の発表にあったように在日ブラジル人のニーズの変化（特に定住化、来日ブラジル人2世の増加等）が見られるようになっていくことを実感しています。これまで帰国しても困らない教育を担うというミッションを果たしてきたブラジル人学校は、ニーズの多様化に合わせて変化していく転換期です。ニーズの多様化は、ブラジル人学校が日本社会との接点となる必要性がより求められてくることを示唆してしているのだと考えています。そのために、新しい繋がりを模索し、連携していくことが必要であると思います。今回のシンポジウムでの指摘や課題は、現場は重々痛感していますし、限られた資源の中で個々の現場でできることには限界もあり、自問自答の日々です。その壁を取るのが「新しい連帯・連携」なのだと今回のシンポジウムで強く認識をいたしました。今後、私自身も互いのもつ多様な資源が繋がっていくために、努めたいと思いました。大変有意義な時間でした。ありがとうございました。
- 私も日本にいらっしゃるブラジル人達に何か力になれるものならば、是非今後参加させて頂きたいです。
- 当日は、どうしても参加できずあきらめていたところ、後日配信の機会を与えて頂きありがとうございました！
- 後日録画配信でも見れるようになっていてよかったと思いました。

Q7.このシンポジウムに関して、ご意見・ご感想などありましたらご自由にお書きください。

27 件の回答（以下、抜粋）

- コロナが収まったら、またブラジルから日本へ移住する家族が増えると思うので、子どもの学校のことなどを相談された時に、どこにつなげればいいのか知りたい。ブラジルの保護者の中には「公立学校＝いじめられる」というイメージを持つ人も少なくない。なら、ブラジル人学校が良いのか、でも学費が高いから心配だ、とも感じている。
- ブラジルにいる間に、子どもの教育について考える時間が持てればいいと思うが、そこまで気が回らず「とりあえず、行ったらなんとかかなるでしょ」の考えも危険だ。
- 教育や日本語学習等について、ブラジルと日本をつなぐ相談窓口があれば良いなと思う。
- 盛り沢山のお話が聞けました。どうもありがとうございます！現場を知ってる方々のお話は共感することも多く、とても勉強になりました。
- 認可されていないブラジル学校の意見も聞きたいです。
- ブラジル人学校やそれを取り巻く状況について大変理解が深まりました。シンポジウムの開催に携わった全ての方々に感謝いたします。
- 業務でブラジル人学校と関わることが多いこともあり、ブラジル人学校を取り巻く環境等について漠然と理解していたが、今回のシンポジウムで漠然と理解していたことに間違いは無かったと確信を得ることができた。
- あるブラジル人学校の関係者は「日本の学校に馴染めずに転校してくる生徒もいる」と言っており、セーフティーネットの観点からもブラジル人学校の存在は必要不可欠であると考える。
- シンポジウムの中で触れられたように、ブラジル政府から認可を受けていても日本の行政から認可を受けていないブラジル人学校が多いのも気になる。

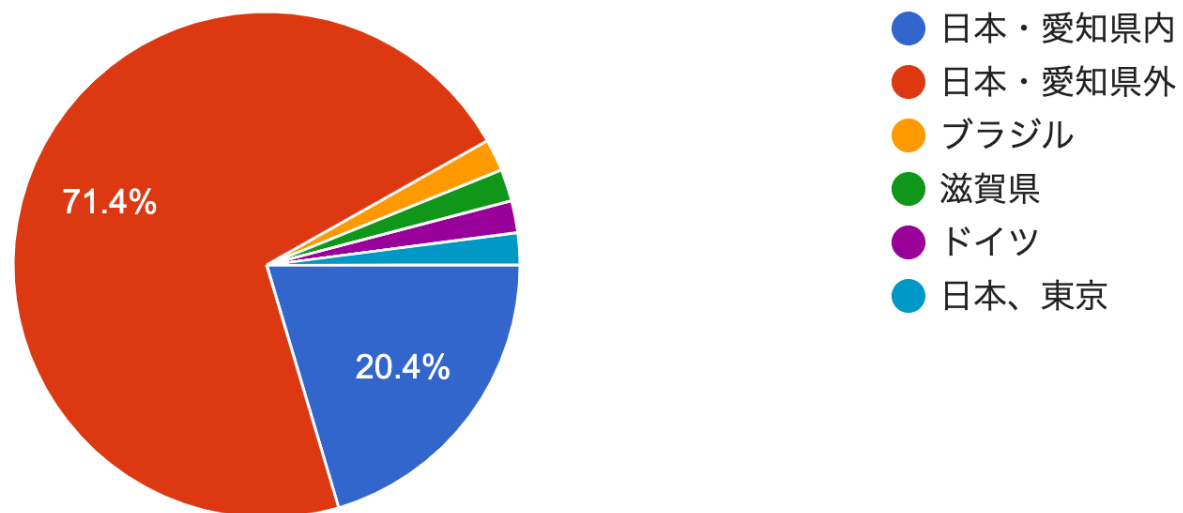
Q7.このシンポジウムに関して、ご意見・ご感想などありましたらご自由にお書きください。

27 件の回答（以下、抜粋）

- 講師の堀さんがおっしゃっていたように、どんな環境で学んだとしても子ども達が自分の人生を歩めるような世の中にしていかななくてはいけないと感じる。ブラジル人学校が自力で全てやるのは限界があると思うので、産官学連携のような大きなムーブメントがないと非常に難しいと思うと同時に継続してアクションを起こしてしていくことが大切だと感じる。
- 近年、ようやく子どもたちに注目されるようになってきましたが、そもそも親の考え方（日本語の必要性のとらえ方、各家庭での教育方針など）が重要であると常々感じています。
- 大人への日本語教育、日本社会で生きていくための情報を与える場を作りたいのですが、個人で何もできず、もどかしい思いですが、できることを探して続けたいと思います。ありがとうございました。

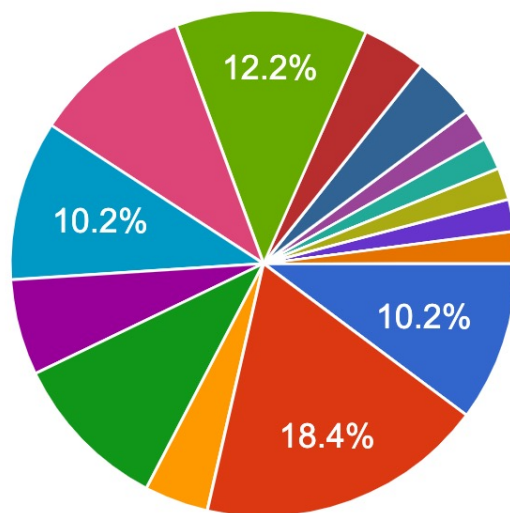
Q8.あなたのお住まいを教えてください。

49 件の回答



Q9.あなたのお仕事を教えてください。

49 件の回答



- 日本語教師・在日ブラジル学校
- 日本語教師・在日ブラジル学校以外
- 日本語教師以外の在日ブラジル学校関係者
- 行政・公的機関
- 学校・民間教育機関
- 企業・個人事業主（フリーランス）
- NPO/NGOスタッフ・ボランティア
- 研究者
- 学生
- 無職
- 公益財団法人 名古屋国際センター 教育相談員
- 社会福祉協議会
- 元大学教員（日本語教育）
- 団体職員、日本語教師（ボランティア）
- フリーランス日本語教師